

光・電子技術活用セミナー

光・電子技術で未来を拓く2日間

農家のための 実践スマート農業の 進め方

農林水産省より「農業 DX 構想」が発表されて3年。スマート農業を支える技術開発が進められていますが、何から始めれば良いのでしょうか。今、農家に求められる未来ビジョンとは何か、現場目線の改善で必要な視点は何か。本セミナーではワークショップ（農業者対象）も開催して、スマート農業の進め方を実体験できる2日間の特別カリキュラムをお届けします。

会場

袋井市教育会館

4階 大会議室

袋井市新屋 1-2-1

参加費
無料

講演会 | どなたでも参加可能

2/7 水

定員
100名

🕒 18:00-20:30 (17:30開場)

講演1 | 18:05-18:50

**農林業教育と
スマート農業**

- ・スマート農業
- ・専門職大学の特徴
- ・農林業の魅力

講師

静岡県農林環境専門職大学
学長

鈴木 滋彦 氏

講演2 | 18:55-19:40

**農林業の現場にもっと
「スマート光技術」を!**

- ・農林業への新技術導入の動き
- ・光技術の応用と農林業DXの
展望

講師

株式会社システムイニシアティブ代表取締役
光産業創成大学院大学客員教員

瀧口 義浩 氏

講演3 | 19:45-20:25

**光・電子技術の農業への
活用事例紹介**

- ・ハンディ型非破壊茶葉
分析機器の開発

講師 | 安間製茶 | 安間 孝介 氏

- ・可視光型光触媒を用いた
農産物鮮度維持

講師 | 横浜松バルス | 近藤 正人 氏

ワークショップ | 農業者対象

2/14 水

定員
20名

🕒 18:00-20:40 (17:30開場)

ワークショップ

| 18:00-20:40

光・電子技術で課題解決を体験しよう

DX技術ありきではなく、現場の課題から問題を探り、解決案の検討、発表までを行います。農業従事者だけでなく、農業の専門家や光電子技術の専門家らによる様々な視点からアイデア、意見を出し合うことで、スマート農業の一步を実体験します。何から始めればよいかと悩んでいる農家の方、ぜひご参加ください。

ファシリテーター

瀧口 義浩 氏

主催



公益財団法人
浜松地域イノベーション推進機構
Hamamatsu Agency for Innovation

共催

袋井市 / ふくろい産業イノベーションセンター / 袋井市農業振興会

後援

袋井商工会議所 / 浅羽町商工会

農家のための実践スマート農業の進め方

概要

▼ 2/7 (水) 講演会

講演1 農林業教育とスマート農業

講師

静岡県農林環境専門職大学
学長

鈴木 滋彦 氏



Profile

静岡県袋井市出身。名古屋大学大学院農学研究科修了後、静岡大学農学部にて奉職。木質材料の研究に従事。IAWS Fellow。日本学術会議林学分科会幹事を担当。2011年農学部長、2013年副学長、2020年から現職。農学博士。

講演2 農林業の現場にもっと「スマート光技術」を!

講師

休 憩 (5分)
(株)TAKシステムイニシアティブ
代表取締役
光産業創成大学院大学
客員教員(前学長)

瀧口 義浩 氏



Profile

1982年名古屋大学原子核工学専攻修了。浜松ホトニクス株式会社入社後、2007年光産業創成大学院大学に転向と同時に(株)TAKシステムイニシアティブ設立、2019年4月同学学長就任、2023年3月同学学長退任。光技術のノウハウを生かして中小企業の課題解決、地域の製造業の発展に努めている。

▼ 2/14 (水) ワークショップ

光・電子技術で
課題解決を
体験しよう

DX技術ありきではなく、現場の課題から問題を探り、解決案の検討、発表までを行います。農業従事者だけでなく、農業の専門家や光電子技術の専門家らによる様々な視点からアイデア、意見を出し合うことで、スマート農業の一步を実体験します。何から始めればよいかと悩んでいる農家の方、ぜひご参加ください。

ファシリテーター 瀧口 義浩 氏

講演3 光・電子技術の農業への活用事例紹介

お申込み方法

WEBまたは
FAX(下記にご記入)にて
お申込みくださいWEB <https://www.hai.or.jp/pvc/news/24020714seminar> ▶

FAX 053-471-2113

お申込み
2024 締切
1/31 水

お問い合わせ ☞ 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 フォトンバレーセンター(担当:菅沼・境澤) TEL:053-471-2111

ご参加にあたってのお願い

- ・セミナー終了後、主催者及び講師等からアンケートを実施しますのでご協力をお願いします。
- ・応募多数の場合、調整させていただく場合がございます。

参加申込書

※「申込」欄のどちらかに○をご記入ください

会 社	企業・団体名 ※個人の場合は氏名			
	住所	〒		
	TEL			
参加者 1	所属部署・役職名		氏名	
	申込※	講演会とワークショップ・講演会のみ参加 両方参加	E-mail	
参加者 2	所属部署・役職名		氏名	
	申込※	講演会とワークショップ・講演会のみ参加 両方参加	E-mail	

個人情報保護に関する注意事項

申込書にご記入いただいた個人情報は、当財団の事業等に関する情報提供や参加者募集の案内以外では使用いたしません。
また、目的外に使用したり第三者に提供したりすることはありません